



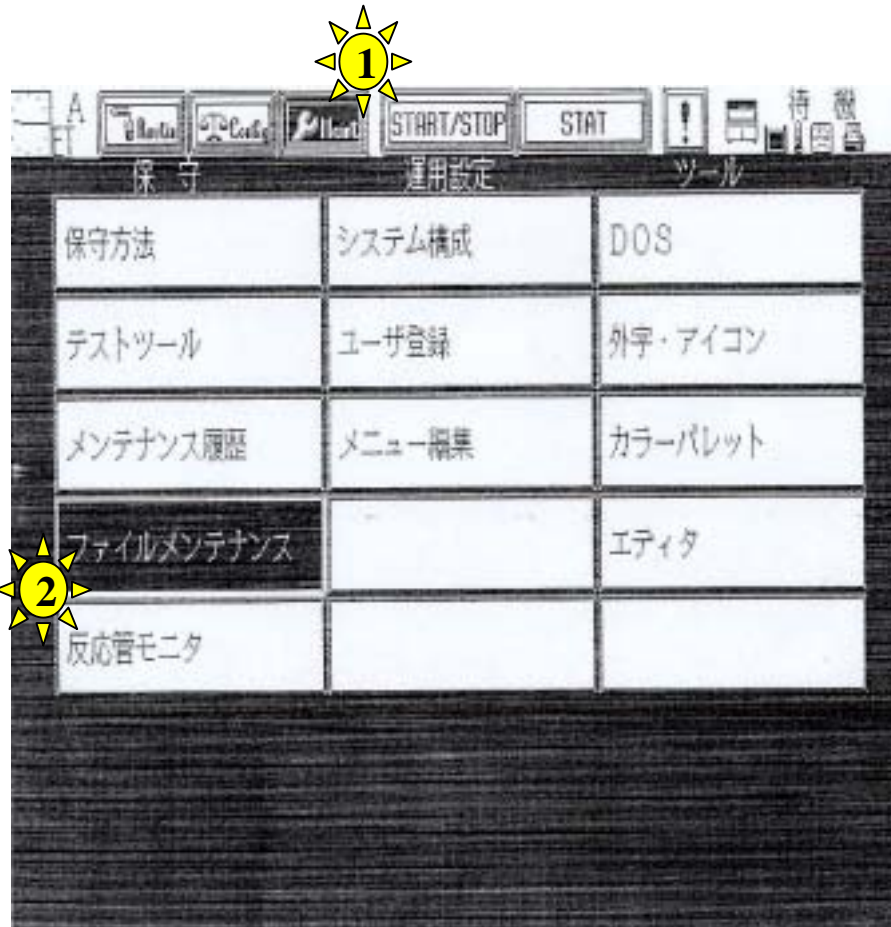
# QCLinx用自動分析装置簡易取扱説明書



株式会社シノテスト



# FDへの保存(ファイルメンテナンスの選択)



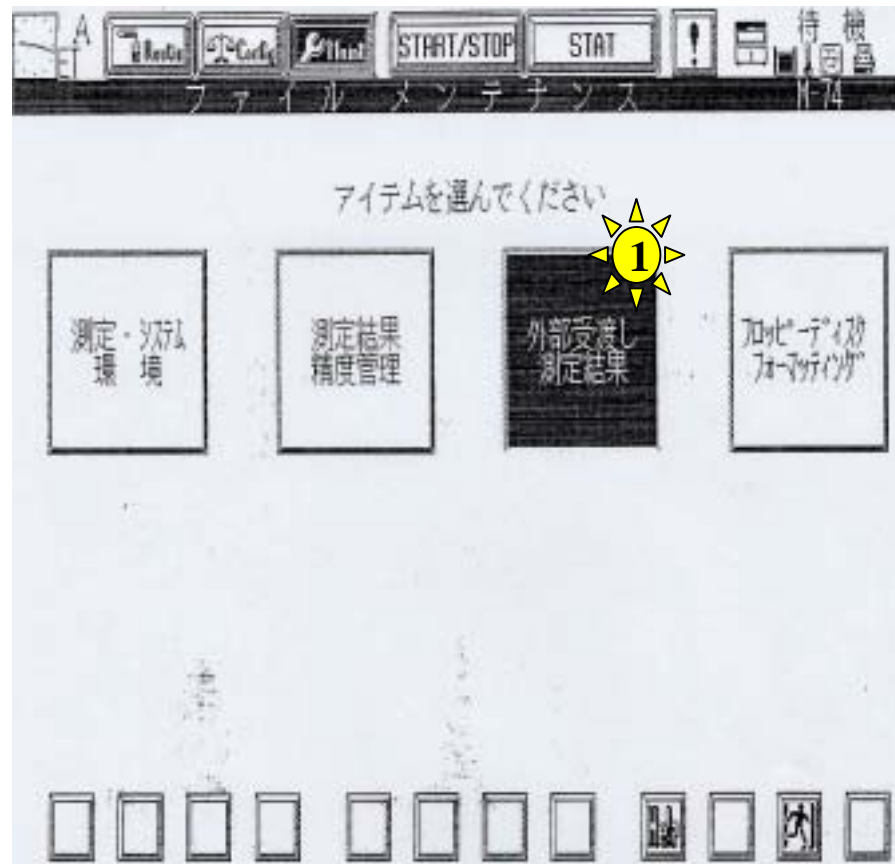
## 【操作手順】

(コントロール測定後 1) Maint ファイルメンテナンス

1 コントロールポジションにて測定する必要があります。



# FDへの保存(ファイルメンテナンス)

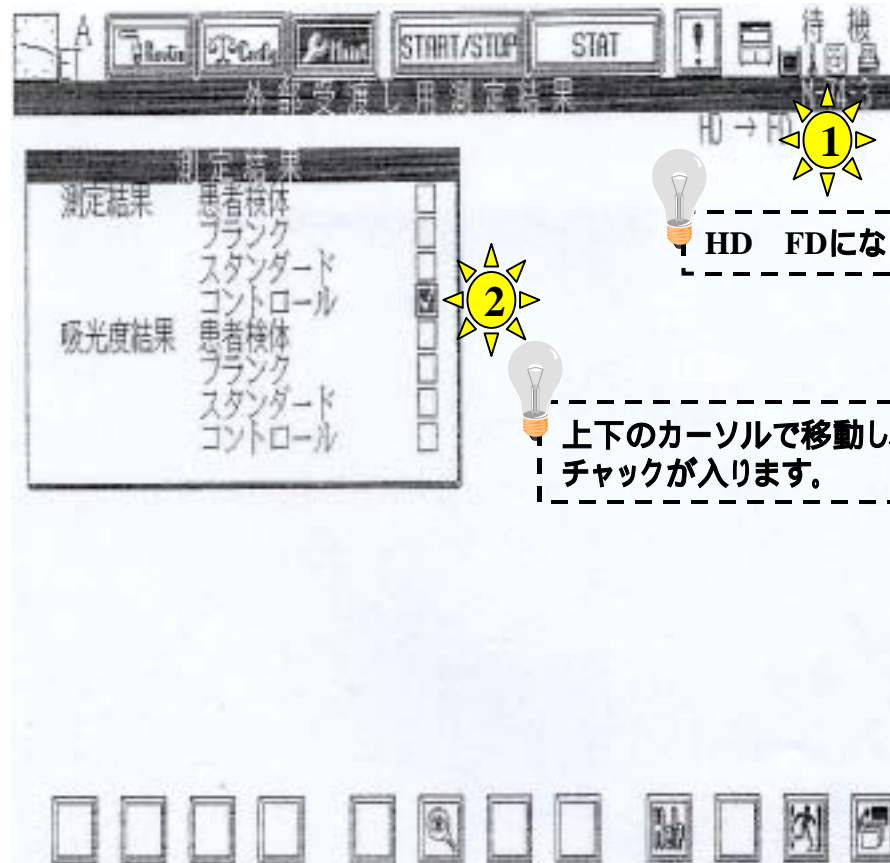


## 【操作手順】

(4つのアイテムが表示される 外部受渡し測定結果を選択。)



# FDへの保存(内容選択)



## 【操作手順】

「HD FD」になっていることを確認

測定結果のボックス中の“測定結果 コントロール”を選択する。



# FDへの保存(範囲指定)



測定結果・精度管理 表示位置: 1 / 3  
973 検体保存可能

範囲指定の**はじめ**の検体を選んでください

子ID	検体ID	氏名	吸引日時
1(CT-A)	CONTROL A		1/11/19 14:28:10
1(CT-B)	CONTROL B		1/11/19 14:30:17
1(CT-C)	CONTROL C		1/11/19 14:32:23



測定結果・精度管理 表示位置: 2 / 3  
973 検体保存可能

範囲指定の**終わり**の検体を選んでください

子ID	検体ID	氏名	吸引日時
1(CT-A)	CONTROL A		1/11/19 14:28:10
1(CT-B)	CONTROL B		1/11/19 14:30:17
1(CT-C)	CONTROL C		1/11/19 14:32:23

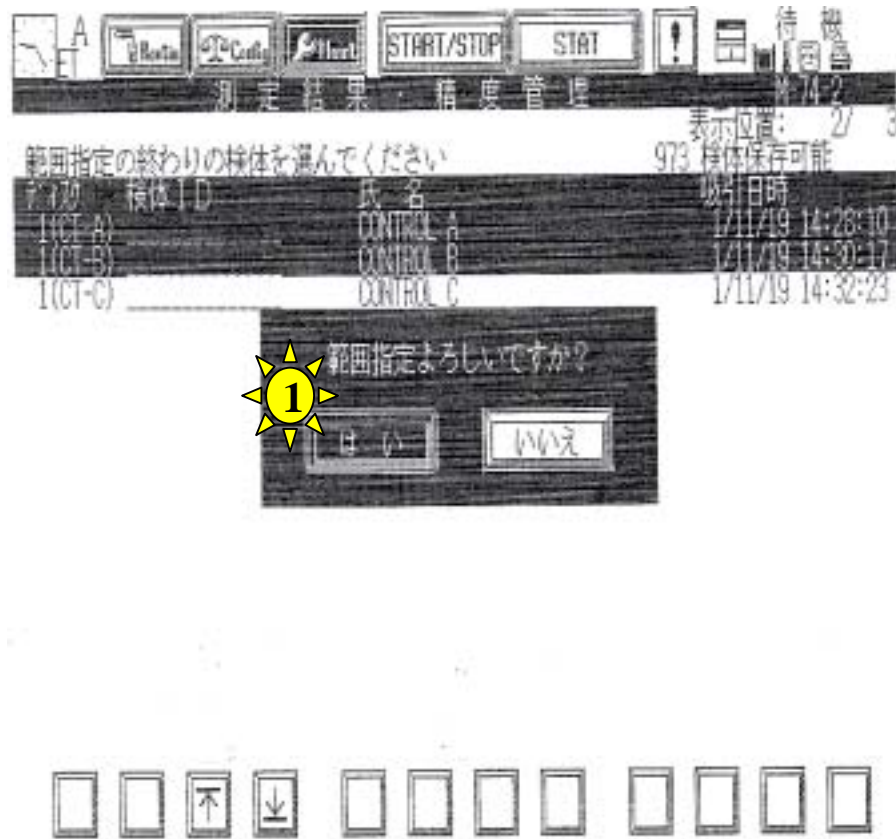


## 【操作手順】

指定したい範囲の先頭検体をカーソルで選択 Enter 指定したい範囲の最終検体をカーソルで選択 Enter



# FDへの保存(範囲指定確認画面)

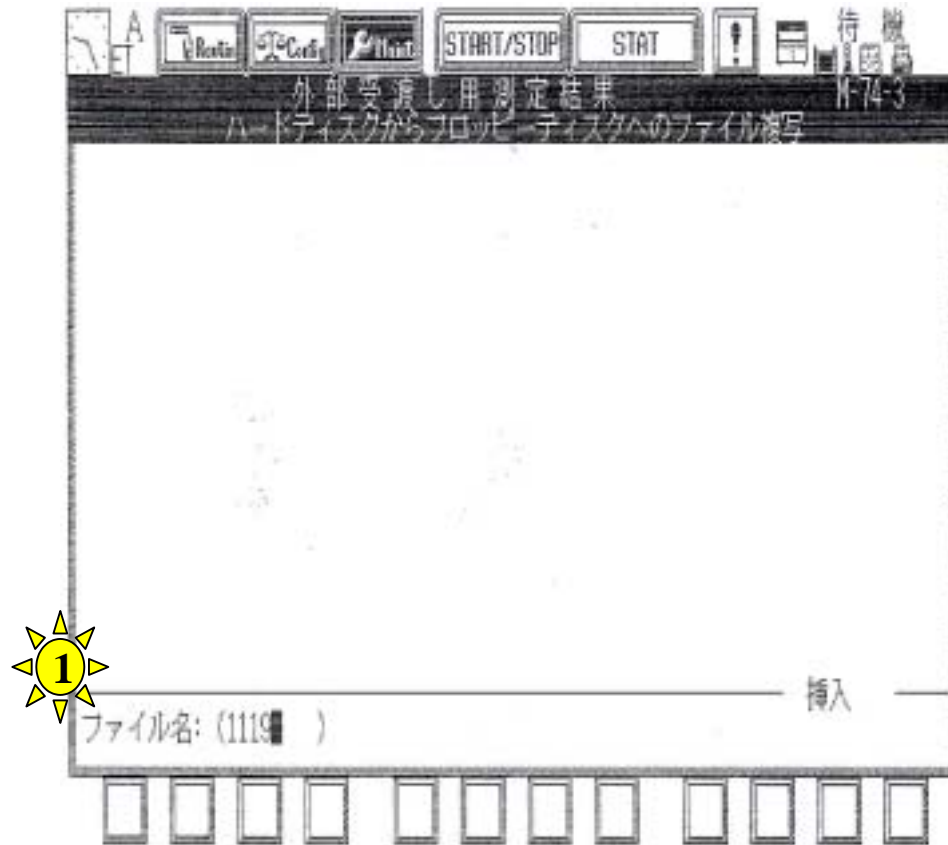


## 【操作手順】

(範囲指定をするとこのような確認画面がでます) 「はい」を選択



# FDへの保存(ファイル名の入力)

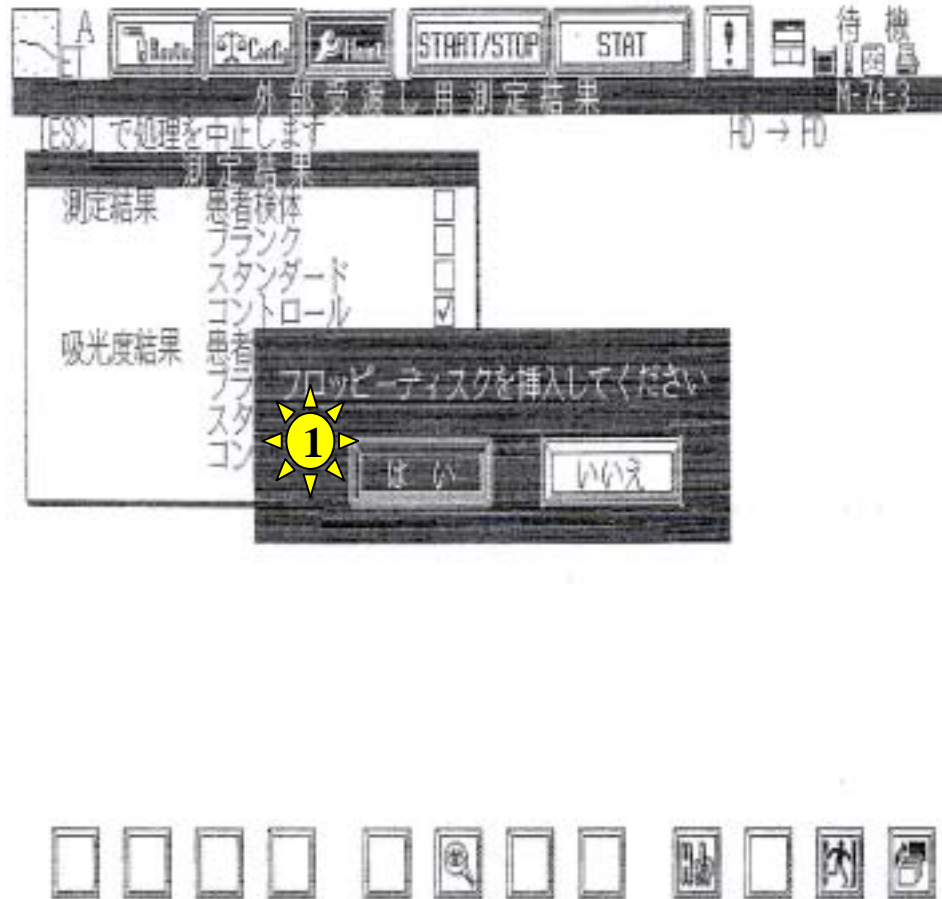


## 【操作手順】

カーソルでファイル名に合わせます ファイル名を入力します Enter  
この時[ESC]を押すとキーボードから直接入力ができます。  
もう一度[ESC]を押すと終了します。



# FDへの保存 (FDの挿入確認)



## 【操作手順】

FDの挿入を確認してきます 「はい」を選択します 保存されます